

日時 令和6年3月14日(木) 14:30～16:00

場所 鹿児島市立図書館 2階 AVホール

出席者 図書館協議会委員7名、事務局7名

【会次第】

- 1 開会
- 2 市立図書館長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 議事
 - (1) 令和5年度の主な活動報告について
 - (2) 令和5年度利用者アンケート調査結果について(報告)
 - (3) 令和6年度予算案及び新しい取り組みについて
- 5 その他
- 6 閉会

【議事概要】

議事(1) 令和5年度の主な活動報告について

(市立図書館)

(天文館図書館)

委員

利用者数が基本的運営方針の目標を大きく超えているが、目標値は大きければ大きい方が良いのか。多くても良くないものなのか。

事務局

令和8年度末に利用者数100万人を目指すものなので、多い方が良い。100万人という目標は、コロナ禍の中で設定した人数。天文館図書館ができることも想定していたが、コロナで伸びないと思っていたが、開館時思いのほか来館者が多かったことで、昨年度、今年度は目標値を超えた。昨年度は1年間で120万人、今年度は1月末で100万人を超えたが、昨年度程利用者は来ていない。少なくとも100万人を下らないかたちを目指したい。

委員

新聞で探検ツアーのようなものを目にした。

事務局

バックヤードツアーを毎年3～4回ほど行っている。たまたま前回新聞で取り上げてもらった。新聞で取り上げてもらうことで、広報の効果が一番大きく、さらに申し込みがあった。

委員

普段は入れないようなところに連れて行くのか。

事務局

図書館全体の説明と日頃は入れないところまで見学でき、喜ばれる企画でもある。

委員

図書館という性質上難しいのかもしれないが、例えば協議会委員もそのような体験ができれば、より具体的、リアルに図書館の状況が伝わるのではないかと思う。

委員

利用者目標値が100万人というのは鹿児島市民が50万人と考えた場合、数字のマジックであるかもしれないが、市民が2回は利用するというふうにも解釈できるのではないか。

市立図書館は電子書籍が豊富。2階の郷土資料コーナーは性質上禁帯出がほとんど。郷土資料のデータベース化にも取り組んでいただきたい。そうすれば、実際の本は傷むことなく、市民は心置きなく利用できる。電子書籍と同時に郷土資料のデータベース化にも取り組んでいただけたらと思う。

委員

郷土資料のデータベース化はありがたい。

いろんなところでデジタル化が進んでいるので、それぞれの図書館で棲み分けをしながら、どういったことができるのか考えていく必要がある。

どこの館にどういったものがあるのか判りにくい。一覧化できたら非常に使い勝手がいいと思う。

委員

市立図書館の館長としての立場で、県立図書館等との会合で各施設にある資料を情報共有できるよう提言を繋げていただけたらありがたい。

議事（2） 令和5年度利用者アンケート調査結果について

（市立図書館）

委員

満足度に関して目標は立てているのか。

事務局

資料1-3にもあるとおり、満足度80%以上という目標をあげている。ありがたいことに他の施設と比較し、市立図書館は古いということもあるが、満足度80%近くいただいている。市立図書館に対する愛着もあって、これだけ古い施設でもそれだけの評価をいただいているのだと思う。天文館図書館はできたばかりなので満足度を維持していきたい。

ホームページの使いやすさは昨年度より少しずつ上がっているが、目標に対してかなり低い。単なる使いやすさというものもあるが、発信・表示の仕方もブラッシュアップしていく必要がある。

目標値が80%と言いながら低い満足度しか得られていないところもあるので、少しずつアップはしているが、できる限り目標値に近づけるようにしていきたい。

委員

年齢層一つとっても明確に棲み分けできている。極端なくらい特化して、専門書なら市立図書館がい

いとか、若い人に受けそうなものなら天文館図書館にあるとか。もっと言えば、県立図書館との棲み分けも面白いのではないか。

これだけの細かいデータを取っているので、いろいろな角度から分析でき、すごい。

委員

アンケートを見ると比較がよくわかる。

市立図書館は、割とシニア世代の朝からの利用が多く、若い人は昼からの利用が多いことが分かる。天文館図書館は、学習や仕事をする人が多く、テーマ別の分類が受け入れられているのかなと思う。アンケートの中で、イベント等の音がうるさいなどと書いてあったりもしたが、鹿児島市一つとっても県立、市立、サンエール、県政情報センター、近代文学館などいろいろある。本当は、市民の皆さんにそれぞれのうりは何なのか、蔵書は何がうりなのかを知っていただき、それぞれの図書館のうりに特化したものがわかるかというのかなと思う。

議事（３） 令和６年度予算案及び新しい取り組みについて

令和６年度予算案について

（市立図書館）

委員

令和６年度予算が単純に１億円あまり減っているのは、LEDやWi-Fi、ストックマネジメント分が減額になっているからか。

事務局

LEDやストックマネジメント等、施設そのものを長寿命化させようということで、長期的、計画的に古くなる施設を更新している。今年度は高圧電源等、高額なものが重なっていた。来年度も１億円くらいはかかる。

委員

そういうものが終わり、その分予算が減ったのか。

事務局

そうです。まだ暫くは更新が続くが、今年度が一番多かった。重なった。

令和６年度の新しい取り組みについて

（市立図書館）

委員

学校連携するのは、鹿児島市立の三高と考えて良いか。それとも、市内全体の学校か。

事務局

市立の小中学校と市立三高です。

委員

説明いただいた取り組みは非常にありがたい。

資料にもあるとおり、詳しい内容については、各研修会等で改めてお知らせしていただけるとありがたい。

委員

現在貸出カードを持っている子にも新たに発行されるのか。

事務局

発行される。利用者カードを持っている子は、利用者カードで2冊、それとは別に学校のタブレットで配布されたIDで別途2冊借りられる。カードを持っている子は、4冊借りられることになる。

委員

とても良い取り組みだと思う。自分も早速電子図書館の申請を行ったが、現状として利用していない。一般の人が知る機会も強化して頂けたらと思った。

5 その他

委員

利用者アンケートの満足度の未記入者が1割ほどいる。これを満足しているのとらえるか、あまり良くないとらえるか、いろいろあると思うが、これを抜くと満足している人がかなり多いと思う。前向きにとらえても良いのではないか。

1-3の資料の施設・設備の満足度も見た目の数字より、実はもっと高いのではないか。未記入の部分はどう解釈するかということもあるが、

委員

小学生の娘が2人いる。図書館で本を借りたり、電子書籍を借りたりしており、非常にありがたく思っている。今日話を聞いて、自分たちが知らないいろいろな活動をしているんだと改めて勉強になった。子どもたちが知っていたら、連れて来たかったと思ったが、情報が全然なかった。広報活動・周知活動に力を入れているとは思いますが、今後より一層力を入れていただければありがたい。

委員

満足度に関しては、あらゆる面でいろいろなところに気をつけていると思った。

多様化の時代にこのような高い満足度をつけるということはとても大変だと思うが、続けていただけたらと思う。

委員

バリアフリー、障害者に配慮したサービスの提供ということで、視覚に障害のある方のことが目についた。点字の絵本がどのくらいあるのか、来館時に手に取って見たが、そんなに無いと思った。貸出ができないようになっていた。点字の本は貸し出せないのか。

事務局

複本のあるものは1冊は禁帯出、1冊は貸出可にして、バリアフリーコーナーに置いてある。貸出可のものについては貸し出されている。全てが禁帯出扱いではない。

委員

キッズタイムなどのおはなし会に聴覚障害をもった子どもや利用者が参加することはあるか。

事務局

おはなし会に聴覚障害の方が参加されたかどうかは把握していない。

バリアフリー映画会の際、参加された方がいる。映画そのものはバリアフリーになっていたが、その後のアンケートで聴覚障害者の方への対応に不備があったと、アンケートに記入いただいた。

委員

絵本・紙芝居を楽しく手話でできるような人材を、長い期間をかけてでも育成し、おはなし会の現場にそのような人が一人でもいて、「鹿児島っていいね。」と広まっていったらいいなと思う。

委員

前回、ディスレクシアの子どもたち、大人のためのマルチメディアデージー用のCDが市立図書館に揃っているが、利用が少ないのが課題だというのが出た。マルチメディアデージーの活用をもっと積極的に呼びかけていけば、間口が広がるのではないかと思う。

委員

アンケートをここまで細かく取っているのはすばらしい。

例えば、電子図書館を利用したことがあるか、無いか。無いの理由まで突っ込んでいる。これだけ細かい分析を行っているのなら、いろいろな角度から使えると思った。

図書館として、市民から使いやすい、愛される図書館であるためにいろいろなイベントや行事を行っていることに頭が下がる。例えば、天文館図書館だと音楽関係。アンケートでうるさいとあったが、そう言われることをわかったうえでやっているあたりが、野心的というか、すごいなと思う。

図書館利用者アンケートに寄せられた意見に対し、図書館からの答えが書いてあるが、意見を書いた人に答えは届いているのか。どのように回答しているのか。

事務局

例年、アンケート結果と一緒に主なご意見という形でホームページや館内に掲示している。

委員

とても丁寧に対応している。書いた人も自分の意見に対してどのような回答が来たか見に来られたりする可能性もあるということですね。わかりました。

委員

アンケートの結果にもあるように、それぞれの図書館の棲み分けができていることが分かる。

電子図書館の連携も非常にありがたい。子どもたちの教育もさらに充実できるなと思った。

予算も連携を始めるにあたり、増えているのか。

事務局

100万円ほど増えた。

委員

どんな電子書籍を入れていくのか、選定が難しいのかなとも思う。

学校によって通信環境が違うので、通信環境に差がないようにしていただきたい。

事務局

通信の方は、ICT推進センター・学校教育課と連携しながら進めさせていただきます。

委員

私もかつて高校現場にいたので、例えば市立図書館もWi-Fiを充実したと書いてあったが、容量が悪いとストンと落ちたり、接続に時間がかかり、見れないといったこともあるので、目に見えないものの整備も大切だと思う。単発的にみるのではなく、これからは本当に俯瞰して総合力で構築していくことがもとめられると思う。

事務局

図書館は知の拠点というが、図書館が充実しているところは市民の質も高いという信念を私は持っている。優れた図書館あるところ、優れた市民ありという気持ちで、今、図書館をより多くの市民の方に使っていただくため、どうしたらいいか、皆さんのご意見など伺いながら、今後努めてまいりたいと思う。

今日もここで皆さんからだいぶお褒めの言葉をいただいたと思うが、市民アンケートはきちんと実施し、自分たちのやっていることがどのように評価されているのか見極めたうえで、また次の会で密に突き詰めていけたらなと思っている。また、いろいろお気づきの点もあろうかと思いますが、こういう機会だけではなく、気づいたことがあったら事務局の方へでもお伝えいただければ大変ありがたいと思っている。どうぞよろしくお願いいたします。

会議終了